



第一工事部 部長 **前野 拓也**

前野拓也が株式会社小澤製作所に入社したのは2005年（平成17年）。前職でも同じ建設業に身を置き、20年以上にわたってこの業界に携わってきた。現在は第一工事部の部長を務める前野に、幼い頃の思い出や転職までの経緯、仕事における心がけなどについて聞いた。

モノづくりを仕事に

小学校の6年間は、サッカーに打ち込んだ。家の中でゲームをするより、外で遊ぶ方を幼い頃から好んできた。父親の職業は大工で、家でもよく椅子や机を作ってくれた思い出がある。その背中を見て育った前野は、「モノづくりを仕事にしたい」といつしか考えるようになっていた。

就職先に選んだのは、職人としての道だ。当時就職した会社では、大手企業の新設工事をいくつも手

がけ、着実に技術を身につけていった。転職を意識しはじめたのは、20代も中盤に差しかった頃。入社して6年ほどが過ぎ、将来へ向けて人生設計を考えてみたものの、社会保険に加入していなかった職場に不安を感じたためだった。

転職の決め手は親近感

労働環境がしっかりと整った会社を探す中で、偶然見つけたのが小澤製作所だった。事業所は地元河和にあり、主要取引先は通っていた中学校のすぐそば。これまで何度も建物の前を通り過ぎてきた馴染みのある会社に親近感を抱き、「この会社で働こう」と決意を固めた。

現場監督の仕事は、職人として働いてきた前野にとっては初の経験。指示された通りに仕事をこなす職人ではなく、指示を出す立場

となる。スケジュールの計画から見積もりまで、すべてを自分で考えて作る必要がある上、安全な作業環境を整えたり、お客様と打ち合わせをしたりと、以前とは違った役割も担わなければならない。最初は戸惑いが多かった。

安全のためのルール作り

工事を行う上では、避けられないアクシデントも多々ある。大事なのは、失敗を教訓にして、同じ過ちを繰り返さないことだ。そのため、日頃から事故に対して未然防止の備えをおこななければならない。たとえば薬品を扱う現場では、作業時以外でも安全眼鏡を装着しておく。サンダーを使用する際のヘルメットは、フェイスマスクがついたものに改良する。こうしたルールを整備しながら、作業環境は日々改善されている。

過去の事例は、新人教育の際に

も必ず共有している。小澤製作所で働く者として実際に起こった事故の様子を知り、ルールを守る大切さを心得てほしいと考えているためだ。

事故の前兆は見逃さない

安全な作業を徹底させることは、社員に対してだけに留まらない。工事現場というものは、協力会社を含め、多くの人間が関わっている。「誰一人としてケガ人を出してはならない」という信念のもと、前野は常に神経を研ぎ澄ます。現場巡回時に、危険だと思った作業や安全衛生法のルール、社内のルールが守られていないときは、指摘し改善を促すからつてから作業をしてもらう。

お客様の設備にてヒヤリ・ハットや気がかり報告が上がったときなどは、すぐにお客様へ連絡を入れ、改善を提案するようにしている。つまずきそうな場所、落下し

そうな場所。手すりや階段の設置を提案するのもお客様にとっての安全対策に繋がりが、喜ばれることも多い。

新たな設備に関しては安全対策がきちんと整っていない、既存の設備の見直しにまでは目が行き届いていない会社も少なくない。とときどき見かけるのが、チェーンカパーが手前部分にだけ設置され、回転物全体が覆われていない形のカパー。たとえば指一本でも隙間から入り込んでしまえば、大きな事故は避けられない。「安全対策の提案として、回転物全体がカパーで覆われていないため、手や指が回転体に入る可能性がありますので、改良しませんか」と積極的に提案することを心がけている。

お客様にも労働環境を整えてもらうことによつて、工事に携わる者だけではなく、お客様も事故災害がない環境となり、それこそが、前野が最も目指している場所なのである。

長く勤めてきた中では、思い出に残る出来事も多い。前野ほどのような部分にやりがいを見出し、この仕事に臨んできたのだろうか。

（後編に続く）



施 工 事 例 紹 介

質だけでなくスピードへのこだわりも欠かさない野田上さん。その高い技術は、ものづくりに対する真摯な姿勢にありました。

製作の概要

案 件：水酸化カリウムを貯めるタンクの製作
 製作期間：1ヶ月弱
 人 数：2名



製造部 部長
 の だ が み よ し ひ ろ
野田上 美博さん

工夫した点

通常のタンクは、横に倒したものをつなぎ合わせて製作し、現場でまた縦に起こすのが典型的な製作パターンです。しかし今回の案件は、トレーラーからはみ出してしまうほど大きいタンクだったため、最初から立てたまま製作することに。まずタンクの天井部分を先に製作し、それをクレーンで持ち上げてその下にタンクの本体を組み込んでいきます。本体を組み入れる作業を何回か繰り返し、最後に底の部分を組み込んだら完成です。それに加え、タンクの周囲を囲む螺旋階段の設置も同時進行で行いました。



意識しているところ

螺旋階段の手すりは通常と異なり斜めに下がっていくような作りだったため苦労しましたが、安全面を考慮し、細心の注意を払って製作しました。また、タンク製作における要望は毎回異なりますが、その中でも一貫して意識しているのが施工スピードです。社長からの指示を受け、要望のイメージを頭の中ではっきりと描き、より速く綺麗なものをつくるよう心がけています。今回の案件では、2名で施工期間わずか1ヶ月弱という異例のスピードで完成させました。また、社長から「上手に溶接してくれた」というお言葉をいただき嬉しく思います。

今後の意気込みや目標

「丁寧に綺麗な作業だけではなく、スピードを意識した仕事をする」これが私のものづくりにおける信条です。この先もより難しい案件に挑戦し、会社に貢献するとともに、さらなる成長へ繋げていきたいと思っております。

IZUMI PARKING 実績紹介

お客様に「ありがとう」と言っていただくことが原動力に

今回は杉山さんに日々の業務内容や心がけていることをお伺いしました!

いずみパーキング アルバイト **すぎやま えいじ 杉山 英治さん**



駐車場の概要

中区錦3丁目にある結婚式場も兼ね備えたホテルです。最大40台入庫が可能で、車幅185cm、高さ150cmまでの車の入庫が可能です。営業時間は朝7時から夜10時まで営業しております。ホテルに宿泊されるお客様から結婚式でご利用のお客様、一般のお客様まで様々な方にご利用いただいております。



嬉しいと感じる瞬間

お客様にお声をかけていただいたときに、嬉しく思います。「ありがとう」と言われることが自分の原動力にもなっています。また、常連のお客様に顔を覚えていただき、気兼ねなくお話できる時間も嬉しく思っています。

心がけていること

少しでもお客様に良い気持ちになってほしいという思いから、一言声をかけるようにしています。例えば、結婚式でご利用のご新郎様が車を出しに来たときには「おめでとうございます」と声をかけています。

お客様に向けてメッセージ

世の中、大変な状況ではありますがご来店して下さったお客様のご期待に応えられるよう、接客していきますのでご利用お待ちしております。



BRICKYARD Recommended

夏も終盤に差し掛かり少しずつ過ごしやすくなっていますが、皆様元気で過ごでしょうか? 今回もブリックヤードについてご紹介しますので、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。



Customer's Voice

8月もたくさんのお客様をお迎えさせていただきました。ご利用目的も、ウェディング、アパレル撮影、動画撮影、ポートレート撮影、美容師様のカット撮影、ワークショップなど、多種多様です。ブリックヤードがこうして皆様の貴重なワンシーンに携われますこと、光栄に思います。

Monthly SELECTION

今回はブリックヤードの備品の1つ、アンティークのBOXをご紹介します。撮影の際のアクセントとして、またイベントなどでもワンポイントの飾りとしてお使いいただけます。是非ご利用ください。

コロナ対策も引き続き行いながら、皆様に安心してご利用いただけますよう努めてまいります。